



2022年4月14日

各 位

会社名 株式会社 大庄
 代表者名 代表取締役社長 平 了寿
 (コード:9979 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 野間 信護
 (TEL. 03-5764-2229)

第2四半期業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正
並びに剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ

当社は、2021年10月15日に公表した2022年8月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、通期連結業績予想の修正につきまして、下記の通りお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、剰余金の配当(中間配当)について下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異及び修正

(1) 第2四半期累計期間連結業績予想との差異(2021年9月1日~2022年2月28日)(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	18,280	△2,340	1,000	960	45円76銭
実績値(B)	16,605	△3,375	105	206	9円82銭
増減額(B-A)	△1,675	△1,035	△895	△754	
増減率(%)	△9.2	-	△89.5	△78.5	
(ご参考)前期第2四半期実績(2021年8月期第2四半期)	17,042	△3,292	△3,110	△3,807	△181円44銭

(注)当実績値には、新型コロナウイルス感染症に係る感染症拡大防止協力金及び雇用調整助成金の未申請分948百万円(実質当第2四半期累計期間相当分)が計上されておりません。

(2) 通期連結業績予想の修正(2021年9月1日~2022年8月31日)(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	41,300	△2,452	900	510	24円31銭
今回修正予想(B)	38,019	△4,215	693	455	21円68銭
増減額(B-A)	△3,281	△1,763	△207	△55	
増減率(%)	△7.9	-	△23.0	△10.8	
(ご参考)前期実績(2021年8月期)	28,836	△5,949	△5,818	△4,864	△231円81銭

2. 業績予想との差異及び修正の理由

(1) 第2四半期連結業績予想との差異の理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言解除後の2021年10月以降、徐々に回復傾向で推移する事を想定しておりましたが、感染者の再拡大により2022年1月に再度まん延防止等重点措置が発出された事により時短営業及び店舗休業を実施し、それが3月まで延長された事による店舗売上高減少等の影響で、前回予想を下回りました。利益面につきましては、売上高減少により売上総利益額が減少したこと等により、前回予想を下回りました。なお、実質当第2四半期連結累計期間相当分である感染症拡大防止協力金及び雇用調整助成金の未申請分948百万円は下半期の業績予想に織り込んでおります。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、第2四半期連結業績の結果と、新型コロナウイルス感染症に係る3月までの時短営業実施の影響等により、前回予想を下回りました。時短営業の解除後は徐々に回復傾向で推移する事を想定しております。利益面につきましては、売上高減少により売上総利益額が減少した一方、1月～3月相当分の感染症拡大防止協力金及び雇用調整助成金を営業外収益へ織り込んでおり、損失分を相応に補填しております。以上を踏まえ、営業利益、経常利益及び当期純利益につきましても前回予想を修正いたしました。

なお、足許におきましても新型コロナウイルス感染症による今後の影響は不透明な状況が続いており、感染症の拡大状況やそれによる消費者動向等により当予想は変動する可能性があります。今後の業績動向も踏まえ、修正が必要となる場合には速やかに公表いたします。

3. 剰余金の配当（中間配当）

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年10月15日公表)	前期実績 (2021年8月期)
基準日	2022年2月28日	同左	2021年2月28日
1株当たり配当金	6円00銭	未定	0円00銭
配当金の総額	125百万円	—	—
効力発生日	2022年5月23日	—	—
配当原資	その他資本剰余金	—	—

(注) 純資産減少割合 0.011 (小数点以下第3位未満切り上げ)

(2) 理由

当社は、企業価値の向上並びに株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題に位置付けております。また、利益配分につきましては、事業拡大に向けて内部留保の充実に努めるとともに、株主の皆様に対しては、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としつつ、業績動向や財務健全性の状況も十分に考慮した上での適正な利益還元を行っていきたくと考えております。

2022年8月期の配当予想につきましては未定としておりましたが、中間配当につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、1株につき6円の配当を実施することといたします。

なお、期末の配当につきましては引き続き未定とさせていただきます、今後の業績動向を見極めつつ検討してまいります。当社といたしましては、早期の業績回復に努めるとともに配当の実施を目指してまいりますので、株主の皆様には引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	年 間
配当予想		未定	未定
当期実績	6円00銭		
前期実績 (2021年8月期)	0円00銭	7円00銭 (普通配当0円00銭) (記念配当7円00銭)	7円00銭 (普通配当0円00銭) (記念配当7円00銭)

以 上